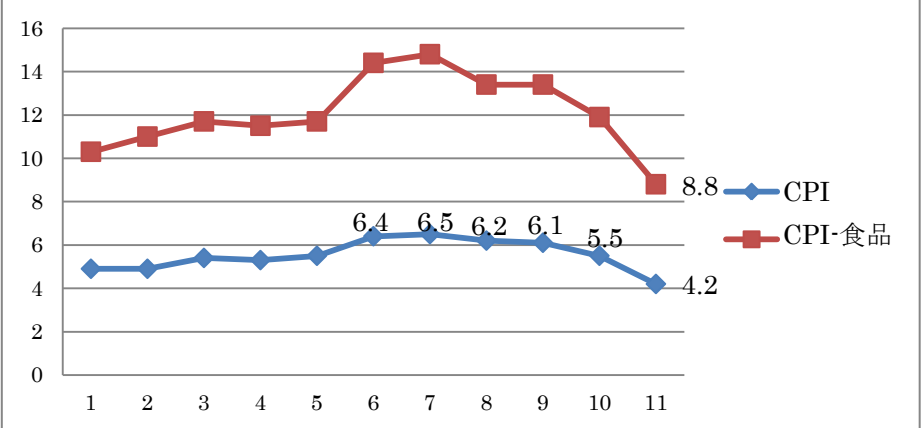
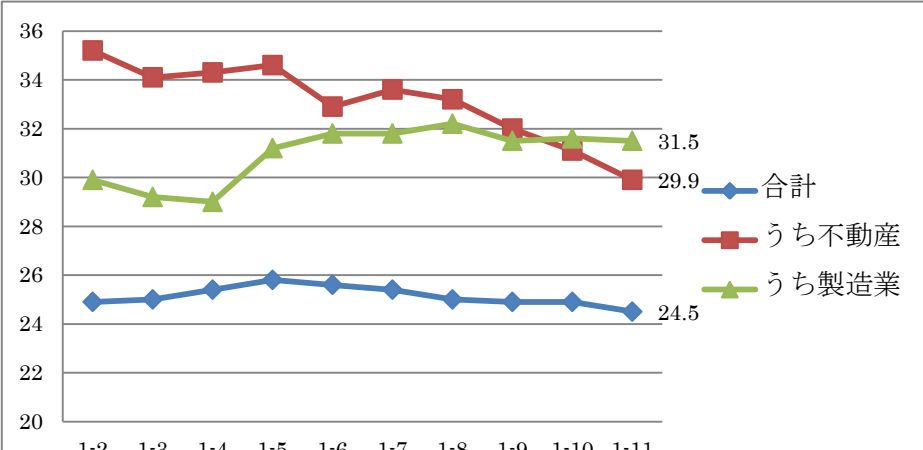


ウィークリーChina No.25
(2011年12月7日～12月11日)

2011.12.11

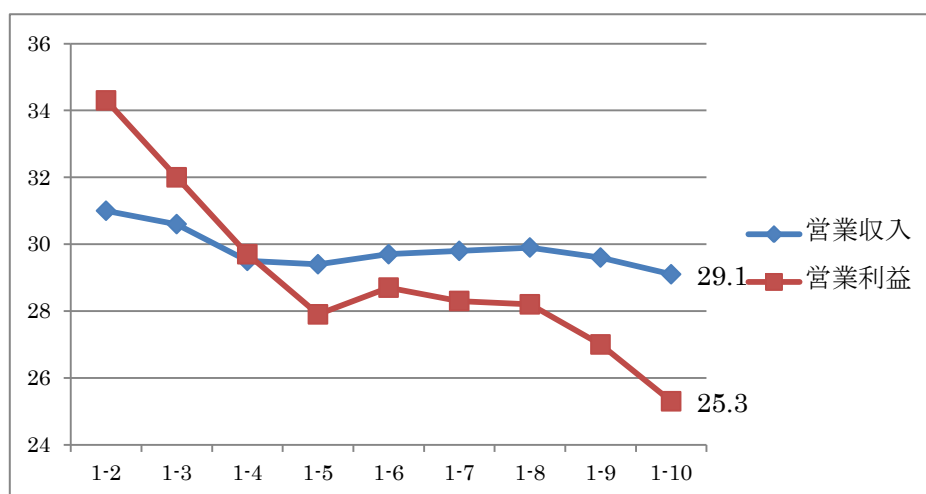
香港 花木

週明け12～14日にかけて、中央経済工作会議が開催されることになった。既に報じられているようにそれに先立つ9日に経済政策に関する政治局会議が開催されており、それによれば大幅なマクロ政策の見直しはない（穏健な金融政策と積極的財政政策を維持する）ものの、今後は状況に応じて微調整を図っていくスタンスが確認されているようだ。

<p>9日、国家統計局は11月のCPIを発表</p>	<p>11月のCPIは6%を切った先月10月(5.5%)から更に1.3ポイント低下して4.2%となった。特にこれまでCPI上昇の主役となってきた食品価格の上昇率が低下したのが貢献した。</p>  <table border="1"> <caption>CPI and CPI-Food Data</caption> <thead> <tr> <th>Month</th> <th>CPI</th> <th>CPI-食品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>5.0</td><td>10.5</td></tr> <tr><td>2</td><td>5.0</td><td>11.0</td></tr> <tr><td>3</td><td>5.5</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>4</td><td>5.5</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>5</td><td>5.5</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>6</td><td>6.4</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>7</td><td>6.5</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>6.2</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>9</td><td>6.1</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>10</td><td>5.5</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>11</td><td>4.2</td><td>8.8</td></tr> </tbody> </table>	Month	CPI	CPI-食品	1	5.0	10.5	2	5.0	11.0	3	5.5	12.0	4	5.5	11.5	5	5.5	12.0	6	6.4	14.5	7	6.5	15.0	8	6.2	13.5	9	6.1	13.5	10	5.5	12.0	11	4.2	8.8								
Month	CPI	CPI-食品																																											
1	5.0	10.5																																											
2	5.0	11.0																																											
3	5.5	12.0																																											
4	5.5	11.5																																											
5	5.5	12.0																																											
6	6.4	14.5																																											
7	6.5	15.0																																											
8	6.2	13.5																																											
9	6.1	13.5																																											
10	5.5	12.0																																											
11	4.2	8.8																																											
<p>9日、国家統計局は1-11月の固定資産投資動向を発表。</p>	<p>中国経済最大のエンジンである固定資産投資の対前年同期比伸び率は24.5%増(11月単月では21.2%増)と水準としては高いものの引き続き鈍化した。また、固定資産投資の主役は交代傾向が明確になっており、値下がりが続く不動産投資の増加率は29.9%増と30%を切った一方、製造業投資は31.5%増と堅調だった。</p>  <table border="1"> <caption>Fixed Asset Investment Growth Rates</caption> <thead> <tr> <th>Month</th> <th>合計</th> <th>うち不動産</th> <th>うち製造業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-2</td><td>25.0</td><td>35.0</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>1-3</td><td>25.0</td><td>34.0</td><td>29.5</td></tr> <tr><td>1-4</td><td>25.5</td><td>34.5</td><td>29.0</td></tr> <tr><td>1-5</td><td>26.0</td><td>34.5</td><td>31.0</td></tr> <tr><td>1-6</td><td>25.5</td><td>33.0</td><td>31.5</td></tr> <tr><td>1-7</td><td>25.5</td><td>33.5</td><td>31.5</td></tr> <tr><td>1-8</td><td>25.0</td><td>33.0</td><td>32.0</td></tr> <tr><td>1-9</td><td>25.0</td><td>31.5</td><td>31.5</td></tr> <tr><td>1-10</td><td>25.0</td><td>31.0</td><td>31.5</td></tr> <tr><td>1-11</td><td>24.5</td><td>29.9</td><td>31.5</td></tr> </tbody> </table>	Month	合計	うち不動産	うち製造業	1-2	25.0	35.0	30.0	1-3	25.0	34.0	29.5	1-4	25.5	34.5	29.0	1-5	26.0	34.5	31.0	1-6	25.5	33.0	31.5	1-7	25.5	33.5	31.5	1-8	25.0	33.0	32.0	1-9	25.0	31.5	31.5	1-10	25.0	31.0	31.5	1-11	24.5	29.9	31.5
Month	合計	うち不動産	うち製造業																																										
1-2	25.0	35.0	30.0																																										
1-3	25.0	34.0	29.5																																										
1-4	25.5	34.5	29.0																																										
1-5	26.0	34.5	31.0																																										
1-6	25.5	33.0	31.5																																										
1-7	25.5	33.5	31.5																																										
1-8	25.0	33.0	32.0																																										
1-9	25.0	31.5	31.5																																										
1-10	25.0	31.0	31.5																																										
1-11	24.5	29.9	31.5																																										

今後については、先月末に発表された一定規模以上の工業企業利潤率が足元低下していることから見れば、今後、製造業の設備投資は減速に転じることが予想される。しかし、一方で、来年に入れば5年間で3600万棟建設することになっている低所得者向け保障性住宅の2年目の着工時期を迎えることや、秋口まで建設が凍結されてきた高速鉄道プロジェクトの再開による上積みが見込まれることもあり、全体としては底堅い動きが予想されよう。

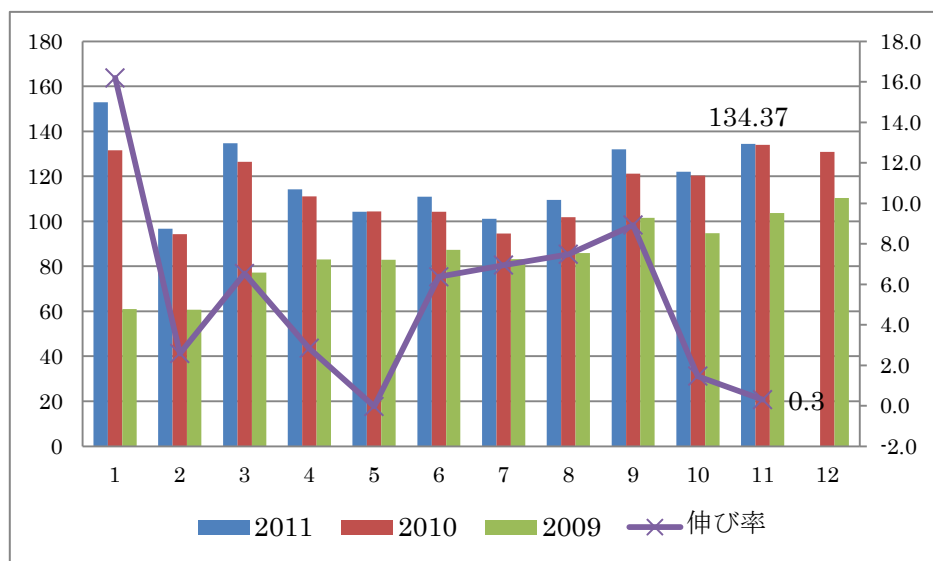
＜工業企業の営業収入・営業利益増加率％＞



9日、中国自動車工業会は11月の自動車販売台数を発表。

11月の自動車販売台数は10月に続いて2カ月連続で前年同月比マイナスとなり、またマイナス幅も2.4%減の165万台と10月(1.1%減)より拡大した。販売台数減の要因は商用車(バス、トラック等)の販売減で、商用車は12.6%減だった。一方、乗用車は134万台、0.3%増と小幅ながら対前年度増を維持した。

＜月次乗用車販売台数(万台)＞

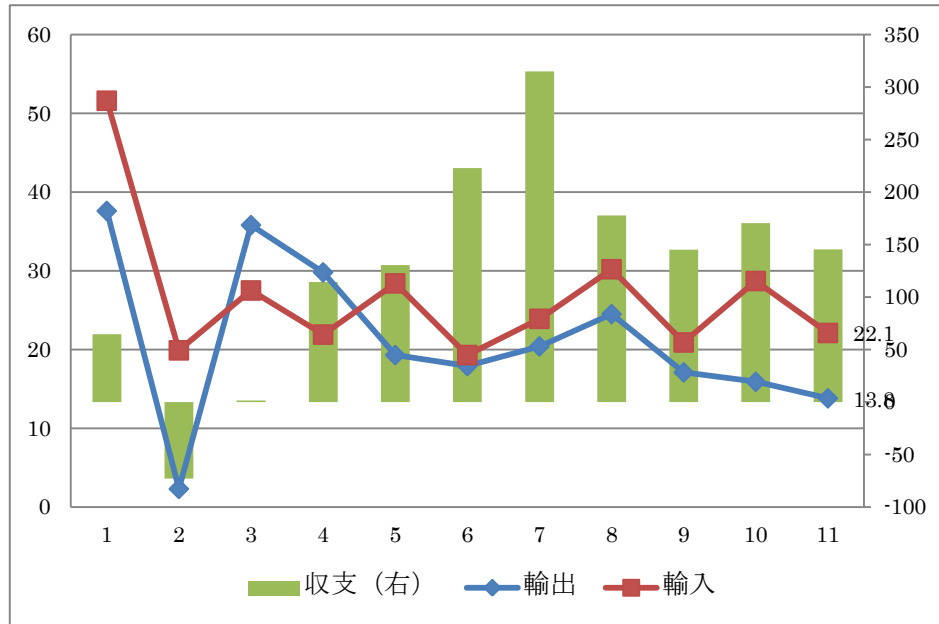


10日、海関総署は11月の貿易動向を発表。

11月の輸出は対前年同期比13.8%増の1,744.6億ドル、輸入は22.1%増の1,599.4億ドルで単月の貿易収支は145.2億ドルの黒字となった。

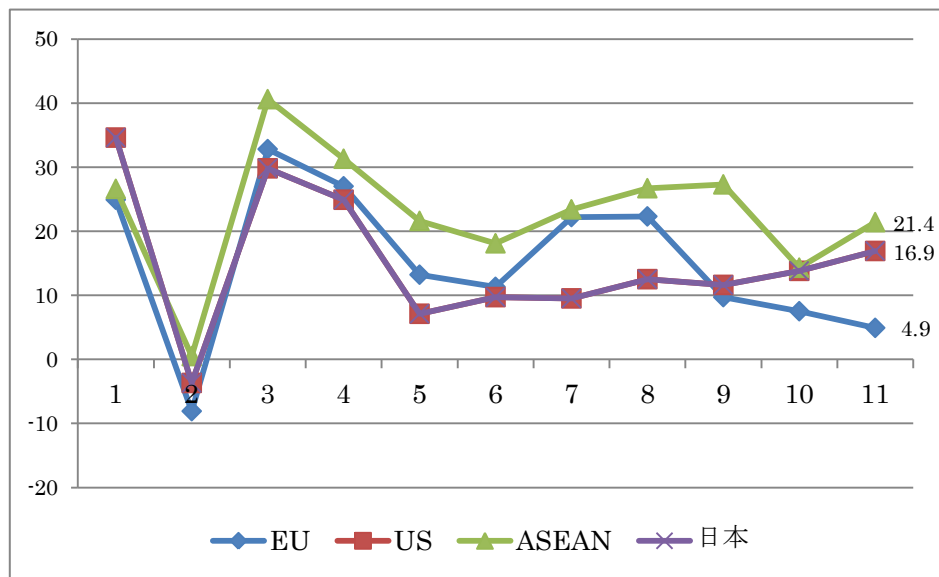
1-11月累積の貿易収支は1,384億ドルの黒字で、昨年(1,831億ドル)を下回り、2年連続の貿易黒字縮小(2009年は2,955億ドル)となることは確実である。

<輸出入増加率と貿易収支の推移(億ドル・%)>



輸出鈍化の主因は最大の相手国である欧州向けの輸出が低迷していることで、11月の欧州向け輸出は4.9%増にとどまった。一方、ASEAN向け輸出の21.4%増に代表されるように新興国向けの輸出は引き続き好調を維持した。

<相手国別輸出動向(対前年増%)>



中国では高速鉄道や高速道路、不動産開発等のプロジェクトが盛んだが、10日付け「法制日報」他が報じるところによれば、最高検察庁の最近のまとめによれば、プロジェクト費用の多くの部分が関連部署への賄賂として利用されているという。甘肅省のある電力設備関連プロジェクトでは、落札額120万元（約1600万円）のもので賄賂が20万元（260万円）と6分の1を占めたほか、100万元のプロジェクトで38万元の賄賂が支払われた例もあるとのこと。プロジェクトは残りの額のうちから行わざるを得なくなり、結果的にその質も大きく低下せざるを得ないことになる。

関連して、9日付け海外在住華僑向けニュース網「博訊」によれば、銭其琛元外相及びその子がフランスから台湾への戦闘機売却に関連して10億ドルにのぼる海外からの収賄と国家機密漏えいを行った嫌疑で秘密裏に逮捕されており、今後秘密裁判を経て極刑に処せられる見込みだという。ソースの性格上真偽は確認できないが銭其琛氏は江沢民時代の外交責任者として政治局委員まで務めた大物だけに、仮に真実だとすれば大変残念なことであると同時に、来年秋の政権交代に向けた政局への影響も考えられるのではないだろうか。

<http://www.boxun.com/news/gb/china/2011/12/201112091422.shtml>

前副总理銭其琛因其子受贿10亿美金 父子面临极刑

（博訊北京时间2011年12月09日 首发 - 支持此文作者/记者）

博訊观察员 李超刚

北京消息人士透露，原中共中央政治局委员国务院副总理銭其琛，因儿子在銭其琛出任国务院主管外交的副总理期间，法国卖给台湾幻影2000新型战机，主管外交的銭其琛，不仅没有给大陆政权做出任何相关的对策性战略调整，相反，銭其琛还包庇儿子在海外得到了10亿美金的好处费。因銭其琛父子的共同腐败，欧洲和美洲的国家拿到了中国大陆的许多重要的一手外交情报。



此案发生后，中共为了保住面子，让銭其琛体面的退休了。在銭其琛退休后，中纪委将銭氏父子秘密逮捕至今。最近，中国大陆准备秘密审判銭其琛父子，在审判后很有可能将秘密处死銭氏父子。因銭其琛的官位如此高，到底如何处置还有待于观察。

（以上）

Disclaimer: 本資料中の数字は注意してチェックしていますが正確さを保証するものではありません。

文章中意見にかかる部分は個人的見解でありいかなる組織の意見でもありません。